

# 会議録

◇詳細—企画未来戦略推進第3グループ 電話03-4566-2519

附属機関又は 会議体の名称		第7回豊島区基本構想審議会
事務局(担当課)		豊島区企画課
開催日時		令和4年1月31日(月) 18時30分～19時30分
開催場所		庁議室及びオンライン開催
会議次第		1. 開会 2. 議事 (1)豊島区基本計画(案)について ・区民説明会及びパブリックコメントを踏まえた修正 ・政策評価委員会による議論を踏まえた指標の修正 ・令和4年度新規・拡充事業を踏まえた主な事業の修正 (2)答申
公開の 可否	会議	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
	会議録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委員	金子一彦(東京学芸大学大学院教育学研究科教授)、小林大祐(東洋学園大学人間科学部准教授)、萩原なつ子(立教大学社会学部教授)、原田久(立教大学法学部教授)、宮崎牧子(大正大学社会共生学部教授)、古堺としひと(区議会議員)、竹下ひろみ(区議会議員)、永野裕子(区議会議員)、小林ひろみ(区議会議員)、大石寛子(豊島法人会副会長)、小林俊史(一般社団法人としまアートカルチャーまちづくり協議会理事・事業推進担当)、知久晴美(特定非営利活動法人ムジカフォンテ代表理事)、外山克己(豊島区町会連合会副会長)、中島明(公募区民)、武藤節子(豊島区民生委員児童委員協議会職務代理者)、齊藤雅人(副区長)、高際みゆき(副区長)、金子智雄(教育長) 欠席者3名
	区側出席者	国際文化プロジェクト推進室長・総務部長・施設整備担当部長・区民部長・文化商工部長・環境清掃部長・保健福祉部長・池袋保健所長・子ども家庭部長・都市整備部長・地域まちづくり担当部長・建築担当部長・土木担当部長・会計管理室長・教育部長・選挙管理委員会事務局長・監査委員事務局長・区議会事務局長・施設計画担当課長・「わたしらしく、暮らせるまち。」推進室長・SDGs未来都市推進担当課長・広報課長
	事務局	政策経営部長・企画課長・財政課長・行政経営課長

## 審議経過

### 1. 開 会

事務局： それでは、定刻になりましたので、ただいまから第7回目の豊島区基本構想審議会を開催させていただきます。

本日の出欠ですが、蟹江委員・村木委員・高橋委員が欠席です。

それでは、原田会長、議事の進行をお願いいたします。

原田会長： 本日は、最終回ということで、できれば会場で皆さんとお会いしたかったところですが、新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、オンラインでの開催といたしました。何とぞお許しください。

それでは、議事に入る前に、傍聴の方はいかがでしょうか。

事務局： 本日傍聴の方はいらっしゃいません。

### 2. 議 事

#### (1)豊島区基本計画(案)について

原田会長： 本日の議事は、「基本計画(案)」についてです。

これまで1年以上にわたり、皆様方と基本計画について議論を重ねてまいりました。前回は「素案」について皆様方からご議論を賜り、その結果をパブリックコメントにかけたところでございます。また、区民説明会を実施したと伺っています。

その結果を踏まえまして、本日は「基本計画(案)」を説明いただく予定です。

この間、皆様方には、事前に資料を差し上げていたところでございます。また「意見がある場合には、ぜひお寄せください」ということでしたが、本日まで意見はございませんでした。

これより、事務局から資料の説明をいたしますが、基本的には本日、基本計画(案)を決定し、区長に答申をしたいと考えております。

それでは事務局より資料の説明をお願いします。

企画課長： それでは、事務局より資料の説明をさせていただきます。資料7-1をお取り上げください。今会長からご説明がありましたとおり、後期基本計画についてパブリックコメントを実施しておりまして、その結果でございます。

事前に資料をお送りしておりますので、ポイントを絞ってご説明させていただきますのと、訂正した箇所は並行して資料7-4でも訂正箇所を確認してまいりますので、二つを合わせてご覧ください。

資料7-1、パブリックコメントの実施期間です。11月25日から12月24日の約1か月でございます。周知方法は広報としま特別号を各戸配布したうえでSNS等も利用して周知をいたしました。受付方法です。郵送が2名、Eメールが11名、持参が6名の計19名の方から意見をいただきました。提出意見数です。複数の意見の出された方もいらっしゃいまして、19名の方から51件の意見をいただきました。次に表の見方をご説明します。下の方をご覧ください。一番左にNo.の欄がございます。こちらの欄は1番から51番まで順番に並んでいます。その隣の関連という欄に、ご意見が基本計画(案)のどこに関係しているのかを記載しています。その隣が皆様からのご意見です。さらに隣の区分については、右上に凡例を記載しておりますが、4種類ございます。「対応」は素案にご意見を反映させたもの。「既記載済」はご意見の内容が既に素案に反映されていたもの。「対応不可」は素案の修正をしなかったも

の。「個別要望/質問等」は総合計画における施策の方向性というよりは、個々具体的な事業等についての要望や質問を区分しています。一番右が区の考え方を整理したものです。

では**No.1**をご覧ください。ご意見の概要の2行目、「アート」や「カルチャー」を、地元産業の発展に結びつける施策を期待するという意見です。区分は「対応」です。区の考え方をご覧ください。下から2つめの段落をご覧ください。事業者や産業の施策は7-1-1、7-1-2に掲載しておりますが、施策7-2や8-1と連携した事業展開を図り、アートやカルチャーを地元産業の発展に結びつけることができるよう努め、また、各論ではすでに記載していた内容ではございますが「連携した政策展開が重要」とのご意見を踏まえ、総論部分の27ページ、成長戦略の部分に、各施策をバラバラに推進するのではなく連携していく、ということで「政策間の連携を深めつつ」と記載しました。

次に2ページをお開きください。**No.2**は豊島区の財政状況についてです。前期計画では5年間の見通しが書いてありましたが、今回は記載がないため、書いて欲しいというご意見です。また**No.3**は投資的経費についても見通しを具体的に示して欲しいというご意見です。区の考えをご覧ください。現在コロナ禍ということで歳入の見通しが立てられない状況にあります。そのため、コロナ禍の終息の見通しが立ったところで、ホームページでお示ししたいとして「対応不可」としております。

3ページをお開きください。**No.4**のご意見、一番下の段落をご覧ください。せっかく「国際アート・カルチャー都市」を目指すのだから、「アート」や「カルチャー」の創作を促進し、地元産業の活性化につなげることも目指した施策を是非実行いただきたい、というご意見ですが、この主訴は**No.1**と同じでございますので、**No.1**と同様の対応とさせていただきます。また**No.5**も環境と産業を結びつけてほしいというご意見ですので、同様に対応させていただきます。

4ページにお進みください。**No.6**、DXと情報セキュリティについてです。個人情報保護をどう担保していくのかについて危機感を持っているというご意見です。区の考え方をご覧ください。各論の196ページにて個人情報については既に記載しているところではございますが、ご意見を踏まえまして、総論部分の34ページに「情報セキュリティの確保」と記載しました。また**No.8**につきましても、デジタルガバメントを進めるにあたっては、セキュリティ対策をしっかりやるべきというご意見ですので、同様に対応させていただきます。

**No.9**をご覧ください。参画と協働についてです。多くの一般区民の参画、特に子どもの参画を積極的に推進してほしいというご意見です。区の考え方をご覧ください。ご意見を踏まえまして、子どもの参画に関連して、「子どもから高齢者まであらゆる世代の区民の参加」を明確に記載しました。

5ページをお開きください。**No.11**町会活動の活性化についてです。町会の活性化について行政の側から見るのではなく、区民の視点を持ってどうしたら活性化できるのか考えてほしいというご意見です。区の考え方をご覧ください。ご意見を踏まえまして、各論の52ページに「区民の視点による町会活動の活性化を行う」と記載しました。**No.13**をご覧ください。地域団体の活性

化についてです。フードサポートや子ども食堂のネットワークなど、ネットワークを活用しようという視点を入れてほしいというご意見です。区の考え方の最後の段落をご覧ください。総論の参画と協働によるまちづくりにおいては、「区民団体、これまでに区と接点の団体」との連携について言及しており、ここに既存のネットワークとの連携の意味を包含しているところですが、ご意見を踏まえ、明確に示すため「新たなネットワークを形成して」と総論の36ページに記載しました。

次のページNo.15をご覧ください。こちらは実際に区民ひろばで働いていらっしゃる方から、区民ひろばを積極的に活用してもらえると嬉しいし、ありがたいと思うというご意見をいただきました。区の考え方の一番下ですが、各論53ページ、施策1-1-2に「積極的に」展開すると記載しました。

No.16は外国籍住民の支援でございまして、日本語教育の問題について豊島区HPの外国語化はあまり質が良いとは言えない、というご指摘でございまして。区の対応でございまして、豊島区ホームページでは、日常生活に必要な情報を多言語で掲載している他、「やさしい日本語」などを使って対応しているところでございまして、ご意見を踏まえまして、各論58ページの施策2-1-1に、暮らす上で必要となる生活情報や支援情報を「分かりやすく提供する」と追記しました。この後は個別要望が続きますので14ページまでお進みください。

No.39です。ご意見の二段落目、災害別の避難場所が一目でわかるような案内表示、告知をお願いしたいというご要望でございまして。区の考え方の4行目でございまして、本区が発行する防災地図に区内の救援センターをわかりやすく表示しております。これは区HPからもダウンロードが可能となっておりますが、ご意見を踏まえ、各論157ページの施策6-4-2において「計画等の周知」について記載いたしました。

対応したものと対応不可としたものを中心にご説明申し上げましたが、既記載分と個別要望につきましても、区の考え方を整理しておりますので、ご確認いただければと思います。なお、資料7-4につきましては本日説明した部分以外は素案で説明した部分と内容が同一でございまして、説明は割愛させていただきます。

次に資料7-2をお取り上げください。後期基本計画の区民説明会についてです。コロナ禍の第5波と第6波の間で、何とか開催することができました。感染対策に万全を期して3か所で説明会を行いました。12月9日が南大塚地域文化創造館で10名、12月14日が区民ひろば千早で11名、12月16日が区役所本庁舎で14名の総勢35名の方にご参加いただきました。時間はコロナ禍ということもあり、18時30分から19時30分の1時間で、30分の説明、30分の質疑応答・意見交換を行いました。主な意見は下の表をご覧ください。感想や当日完結した質問を除き、意見の中で区の回答が必要なものは、先ほど説明した資料7-1に意見をまとめております。

それでは次に資料7-3について行政経営課長よりご説明申し上げます。

行政経営課長

資料7-3、政策評価委員会による議論を踏まえた指標点検結果をお取り上げください。1.政策評価委員会における議論でございまして。

(1)開催日時ですが、第1回を昨年11月2日に開催し、委員から頂いたご意見を参考に、各部局で指標との目標値の再点検を行いました。それ

を受けまして第2回は今年の1月17日に開催し、庁内の点検結果をご報告申し上げます。

(2) 議論の具体的な方法についてです。後期基本計画のすべての施策の指標と目標値の設定根拠をまとめた一覧表を作成いたしまして、この表に基づいて点検を行いました。

(3) 意見の要旨についてです。第1回の政策評価委員会にて委員から出された意見につきましては11月9日付のメールにおいて基本構想審議会の委員の皆様へすべてのご意見を共有させていただいております。本日の資料に記載しておりますのは、その意見のまとめでございますので、後程お目通しいただければと存じます。

続きまして2ページにお進みください。2.基本計画の指標、目標値の総点検内容についてです。第1回の政策評価委員会の後、全部局で改めて点検を行う際に使用した、チェック項目と見直しの視点を表形式にまとめたものでございます。政策評価委員会の委員の皆様から出された意見を執務担当者に分かりやすいように、可能な限りかみ砕いたうえで点検を行いました。

3.再点検結果です。このようなチェックで最終点検を行った結果、見直しを行った施策が2つございました、一つ目が施策5-1-1みどりの活動拠点の創造・育成でございます。こちらは努力要素、チャレンジ要素を加味して、2025年と2030年の目標値をそれぞれ5%上方修正しています。二つ目が施策6-4-2自助・共助の取組への支援でございます。こちらは元々、訓練の回数を設定していましたが、委員のご指摘を受けて参加人数に改めました。

事務局からの説明は以上でございます。どうぞよろしく願いいたします。

原田会長： ありがとうございます。

この間にパブコメの実施をいたしまして、私は5年前を思い出しながら2桁の意見がくればいいなと思っていましたが、51件という大変沢山の意見をいただきました。そして私から、事務局と各部局におきましては「意見を真剣に考慮してほしい」とお願いをしていましたところ、素案の中でかなりの修正をいただいたということでもあります。また、区民説明会も3回実施をし、私が委員長を務めております政策評価委員会においても指標と目標値の点検をいたしました。その結果として、2つ実際に指標を見直していただくに至ったということでございます。それではこの3つ、パブコメ、区民説明会、政策評価委員会の議論の結果について、ご意見・ご質問ございましたらお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

これまで、かなり手間暇をかけて意見を聞いてきたと承知しております。ございませんでしょうか。では次に進ませていただきます。

パブリックコメント、区民説明会、政策評価委員会の点検結果を踏まえた修正案が、皆様のお手元に届いている基本計画案でして、事前にご意見をお伺いしているところでございますが、その他、何かご意見やご質問がございましたら、お願いしたいと存じます。いかがでしょうか。

では、G委員、どうぞ。

G委員： 後期分の基本計画の検討にあたり、基本構想や前期基本計画の範囲は大きく変えられないということで、そこについては限界があると感じながら議

論をしまいにしました。一番大きなところで言うと、成果指標ではなく、具体的な施策の進行量を明確にするのが基本計画ではないかという立場ではあります。ただ、そこを言い出してしまうと、議論がひっくり返ってしまいますので、今そこは議論しないにしても、今回の議論で、大きな課題として「脱炭素・地域社会づくりの推進」が明記されたことがよかったなと思っています。ただ、そこに反する部分として「池袋副都心の再生」で、再開発ビルが大きく増えていくようなまちづくりが書かれていることについては、賛成はできないのですが、なかなかうまく議論ができなかったことについて申し訳なく思っています。池袋を中心とした再開発の部分については良いと言えないところが沢山ありますが、総じて脱炭素、CO2排出を抑えた地域推進に軸足を置いた施行がされることを望みたいと思っています。意見というか感想で恐縮ですが、そのように思っています。

**原田会長：** ありがとうございます。ご意見ということで承りたいと存じます。他の方がいいでしょうか。これだけの文章でございますので、「てにをは」を含めて、修正すべきところがあるかと思いますが、そこは私にご一任いただければと存じます。事務局もそれでよろしいでしょうか。

**事務局：** はい。

**原田会長：** では、皆様方からご意見もございませんので、この内容で答申としたいと存じます。よろしゅうございますか。

(一同同意)

**原田会長：** ありがとうございます。それではこれより、区長をお招きして、答申をお渡ししたいと存じます。

## (2) 答申

(豊島区長入場)

**事務局：** これより豊島区基本構想審議会より区長に答申を行います。会長と区長はお立ち上がりください。

それでは原田会長から区長へ答申書の手交をお願い申し上げます。

**原田会長：** はい。

答申書

令和2年11月11日、貴職より本審議会に諮問された事項について、調査・審議を重ねた結果、このたび豊島区基本計画の策定について、別添のとおり結論を得たので、ここに答申いたします。

豊島区基本構想審議会会長 原田久

どうぞよろしく願いいたします。

**豊島区長：** どうもありがとうございます。

(写真撮影)

**事務局：** それでは、審議会を代表して原田会長よりご挨拶をいただければと思います。

**原田会長：** この答申を区長にお渡しするまで1年2か月の間、議論を重ねてきました。私としては、このコロナ禍で1年2か月というのは結構長く感じたところですが、どうしても、このご時世ですので、明日の新規感染者は何人になるのか、自宅待機の方は何人になるのかといったような、「明日どうなる」という話ばかりに関心が行きがちでございますけれども、本日Zoomの向こう側にご出席の委員の方々と共に、顔を上げて、前を向いて、将来を見据えて議論

を重ねてまいりました。その結果が、本日区長にお渡しをしました答申でございます。

この答申を「明日、明後日すぐに実現を」という訳にはいかないですけれども、我々を導いてくれる北極星のように、いつか迷ったときに「ああ、ここを我々は目指していたのだ」と振り返ることができるような答申、基本計画であって欲しいと祈っているところでございます。

計画自体は令和7年度までと、まだまだ先ではありますがけれども「アフターコロナ」を見据えた計画の着実な推進を、ぜひとも区長にはお願いしたいと思っています。

**事務局：** 会長、ありがとうございます。

また、長い間、委員の皆様にはご協力をいただきありがとうございました。委員の皆様到最后に一言ずつご挨拶をいただきたいと思っております。私の方で、順番にお名前を呼ばさせていただきます。

なお、大変恐縮ではありますが、既にご連絡しているとおりに、コロナ禍につきご挨拶は、1分程度でお願いできればと思っております。

では、金子一彦委員よりお願いします。

**金子(一)委員：** 東京学芸大学の金子でございます。大変お世話になりました。私からは主に教育について、ご意見を申し上げました。豊島区は「教育としま」という伝統ある教育の良さがありますので、SDGsを始めとする新たな時代に対応した教育との両立をこれから期待しているところでございます。

この基本計画が着実に実施されまして、豊島区がますます魅力ある街として発展されますことを期待しております。ありがとうございました。

**事務局：** ありがとうございます。続きまして小林大祐委員、お願いします。

**小林(大)委員：** 東洋学園大学の小林大祐です。一年以上の間、大変お世話になりました。先ほど会長からもありましたが、コロナ禍の中で時代としては転換期に入っていく最中にあると思っております。この計画を今後どういったまちづくりをしていくか、区の方針やこの先どういったところに進むのかという指針にさせていただければと思っております。

私は地方自治を教えておりますけれども、学生に、自分が住んでいるまちの基本計画がどう見えているかを聞いたところ、7割くらいの学生が、計画通り進んでいると実感していましたので、ぜひご活用いただければと思っております。この度はありがとうございます。

**事務局：** どうもありがとうございます。続きまして、萩原なつ子委員をお願いします。

**萩原委員：** 大変お世話になりました。SDGsの前文に「ジェンダー平等無くして17目標達成なし」とありますように、としまF1会議以降、女性政策をセンターに置きながら持続可能なまちづくりを進めてきた豊島区、さらにだれひとり取り残さない施策を展開していただければと思っております。どうもありがとうございます。

**事務局：** ありがとうございます。続きまして、宮崎牧子委員をお願いします。

**宮崎委員：** 大正大学の宮崎でございます。一年以上の間ありがとうございます。今回この基本計画の策定にあたってはSDGsについて考える機会になりました。

私の専門領域の社会福祉ですが、豊島区の基本計画に基づいて、社会福祉の方向も進めていける機会となるのではないかと思います。どうもありがと

うございました。

- 事務局：** ありがとうございます。続きまして、古堺としひと委員、お願いします。
- 古堺委員：** 皆様お疲れ様でございました。私からは主に成果の指標や目標について、どのように考えるべきか、お話をさせていただきました。そういった中で、最後、指標の総点検を再度行っていただき、一定程度の方向性を示していただいたこと、すごくよかったなと思っています。この視点が、今後継続してブラッシュアップされていくことを期待したいと思っています。皆様どうもありがとうございました。
- 事務局：** ありがとうございます。続きまして、竹下ひろみ委員、お願いします。
- 竹下委員：** 区議会議員の竹下ひろみでございます。一年以上大変お世話になりました。今回の策定に向けては、新年度が区制施行 90 周年ということもありますし、また区制施行 100 年に向けて新たな目標がしっかりと出来上がったこと、その一翼を担えたことを大変誇りに思っています。
- 情報をしっかりと細かく皆さんに伝えていくことが、今後大事になってくると思っています。その点も踏まえて、今回の基本計画が区民の皆さんにいきわたって、成果・効果のある策定となりますことを心からお祈りさせていただきます。皆様に勉強させていただきましたこと、改めて感謝と御礼を申し上げます。ありがとうございました。
- 事務局：** ありがとうございます。続きまして、永野裕子委員お願いします。
- 永野委員：** 皆様大変お世話になりました。今回は後期計画ということで、基本構想と前期基本計画を踏まえて、大きく変えるのは難しいということでしたが、SDGs の観点をしっかりと組み込んだ形で、先ほど時代の転換期という言葉がありましたけれども、先を見渡すのが難しい中で、皆さんの活発な意見が反映された、非常に貴重な基本計画ができたと思っています。この基本計画の実行を今後見ていく立場でございますので、具体的な計画に反映されて、施策に落とし込まれるように、議会としてもしっかりと見ていきたいと思っています。ありがとうございました。
- 事務局：** ありがとうございます。続きまして、小林ひろみ委員お願いします。
- 小林(ひ)委員：** 皆様色々ありがとうございました。様々な意見を聞かせていただくことができて、大変勉強になりました。脱炭素地域社会づくりの推進と都市再生の矛盾については、どう解決していくのか考えていく必要があるとは思っています。ただ、先端的な考え方も入れながら、令和 7 年度まで、そしてその先の 2030 年までの目標を作るという仕事はできたと思いますし、基本計画自体がすっきりして読みやすくなったと思っています。ありがとうございました。
- 事務局：** ありがとうございます。続きまして大石寛子委員、お願いします。
- 大石委員：** 大石寛子でございます。この度は大変お世話になりました。コロナ禍の中、思うような意見も言えず、お役に立てなかったのですが、夢をつかむような話で、わくわくした気分になりましたし、皆さんの活発なご意見を聞いて、勉強させていただきました。コロナ禍がいつ終わるか分かりませんが、このような状況の中でも豊島区が発展していけますよう、心から祈念しております。また、皆様のご健康をお祈りしております。どうもありがとうございました。
- 事務局：** ありがとうございます。続きまして、小林俊史委員、お願いします。



**小林(俊)委員：** 小林俊史です。大変お世話になりました。私は区民の参画と協働に主眼を置いて発言させていただきました。記述の中にも協働、そして共創へという言葉が入って、いいなと思っております。ただ、現場でまちづくりを進める中では、行政と区民が共創を進めようとするほど時間がかかる、時間をかけなければならない、という考えを持っております。行政側の方も大変だとは思いますが、ぜひ時間をかけてじっくりと取り組んでいただき、成功させていきたいと思っております。ありがとうございました。

**事務局：** ありがとうございました。続きまして知久晴美委員、お願いします。

**知久委員：** この度は色々お世話になりまして、ありがとうございました。大変良き勉強になりました。これからの豊島区で、私が中心で行っております、文化・芸術をどのような形で広げていくか、そして区民と行政が一体となって行動することができるのかを、文化・芸術だけではなく、まちづくりや他の視点からも考えながら、生きていかなければいけないと踏まえております。ありがとうございました。今後もどうぞよろしく願いいたします。

**事務局：** ありがとうございました。続きまして、外山克己委員、お願いします。

**外山委員：** 町会連合会の副会長として、地域のまちづくりということで参加させていただきました。一方、高齢者クラブの会長という立場で、高齢者に優しいまちづくりという点で色々皆さんのご意見をお聞き出来て、よかったと思います。これから西地区の開発が本番を迎える段階でこの基本計画がその道筋になってくれたらいいのかなと期待しています。どうもありがとうございました。

**事務局：** ありがとうございました。続きまして、中島明委員、お願いします。

**中島委員：** 中島でございます。区民公募枠で手を上げさせていただきました。池袋に15年住んでいますが、勝手に新住民の意見を背負ったつもりで、参加させていただきました。

コロナ禍の中で、事務局の皆さんは運営が大変だったと思うのですが、思えば一回目の時にZoomのカメラをオンにさせていただきとお願いをしたところから、提案を色々聞いていただいて感謝しています。こういうタイミングだからこそ、審議会をイノベーションできるのではないかと、参加しながら思いました。51件のパブリックコメント、素晴らしいなと思うのですが、僕の周りにはいる人たちなどは、どうしても区政が遠くなっている、デジタル技術を使えばもっと声を集められるのではないかと思いました。先ほど小林俊史さんがおっしゃっていた参画と協働は、僕も気になっていて、新住民でもまちにコミットしたい人はとても増えているので、諸先輩方と新住民とが一緒にまちづくりに関わっていただけたいなと思いました。本当はもっとお話ししたかったですけれど、またどこかで皆さんとお会い出来たら嬉しいです。

**事務局：** ありがとうございました。続きまして、武藤節子委員、お願いいたします。

**武藤委員：** いろんな分野の方の専門的なお話など、勉強になるお話を沢山聞かせていただきました。民生委員という立場で、福祉ということが一番、頭にあります。このコロナ禍の中、東池袋の公園で並んでいる方がいるとか色々なお話を聞きますので、区政の中でも様々な立場の方の生活が反映されていけばいいなと思っております。また、数年後には児童相談所が豊島区にできると聞いておりますので、将来を担う子ども達が豊島区で元気に成長していければ

など願っています。いろいろ勉強になりました。ありがとうございました。  
皆様のご健康をお祈りしております。

**事務局：** ありがとうございます。続きまして、齊藤雅人委員お願いします。  
**齊藤委員：** コロナ禍の中、なかなかスタートすることができずに、1年、審議を遅らせてしまったということがあり、その関係で後期計画期間が4年となりました。

私も今まで計画策定を随分やってまいりましたけれども、計画というのはプロセスが非常に重要ななと思っております。皆様からご議論いただく上で、事務局が十分な議論の素材をご提供できたか分かりませんが、コロナ禍という中で頑張ったのではないかと考えています。皆様からの多くの声が計画にいかん反映されているかという部分が、この計画の価値であるとも思っていますので、皆様から頂いた、会長からいただいたこの答申を区の基本計画といたしまして、高野区長の下でしっかりと進めていければと改めて決意をしたところでございます。どうもありがとうございました。

**事務局：** 続きまして、高際みゆき委員、お願いいたします。  
**高際委員：** 会長からもお話しいただきましたように、日々はコロナの感染対策等々の対応で、今日、明日、明後日という短いスパンでやっているところなのですが、今回、それも含めつつも、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えていただいて、長い時間をかけてご議論いただきまして、誠に感謝を申し上げます。それから、SDGs未来都市となった豊島区としての計画ということで「誰一人取り残さない」という観点から、福祉の分野、それから子どもへの支援の分野において、心強い計画にさせていただいたと思っています。齊藤副区長からもありましたけれども、今日いただきましたものをしっかり実行に移せるように、責任と自覚を持って取り組んでまいりたいと思います。

**事務局：** 続きまして、金子智雄委員お願いします。  
**金子(智)委員：** 皆様のご議論のもと、素晴らしい基本計画を頂き、ありがとうございます。議論の中でSDGsのお話が沢山出ました。今、子ども達はおとなの方々と一緒に、体験を含めて学ぶことを軸に、みんなで一所懸命にSDGsを勉強しています。また、この計画は、子ども達がこれからどういう場所を作りたいかと考えたときに、必ず目にするものであろうかと思っています。大変ありがとうございました。

日々、ひとつの学級閉鎖が終わると、今度はこちらが学級閉鎖というように対応に追われていますけれども、振り返ってみますと第何波も乗り越えてまいりました。今後もこの計画をもとに子どもたちと一緒に乗り越えていきたいと思っています。本当にありがとうございました。

**事務局：** 委員の皆様、ありがとうございました。  
それでは、最後に高野区長より会長並びに委員の皆様へ、ご挨拶がございます。

**高野区長：** 区長の高野之夫でございます。  
先ほど原田会長さんから、基本計画について200ページにわたるご答申をいただきました。そして、各委員の皆様から、ご意見や感想、熱い思いをいただきました。

令和2年11月11日に開催した、第1回基本構想審議会において「豊島区基本計画の策定」について諮問させていただきました。皆様には、コロナ

禍という状況にもかかわらず、およそ一年間、7回にわたり、熱心なご審議をいただきました。

この間の委員の皆さまの審議に対し、心から敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。特に、審議会の運営にご尽力いただきました原田久会長さんには、重ねて感謝申し上げます。

ご答申いただきました基本計画は、豊島区がこれから進むべき方向、目指す都市像を示す内容が盛り込まれ、特に「SDGs未来都市」としての発展を通して「さらなる輝きを放つ国際アート・カルチャー都市」を目指すものとされています。豊島区の個性や存在感を際立たせ、オールとしまでの取組により、住み続けたい街、訪れたい街であり続けるための、豊島区らしい計画として、おまとめいただきました。

行政計画は、策定することに意義があるのではなく、何よりも、その実現を図ることが肝要であります。

この計画の実現をお約束することが、原田会長さんをはじめ、ご尽力いただきました各委員の皆さまへのお礼になると考えております。

これから10年間の取組が、豊島区の将来を大きく左右することは、間違いございません。

そして、豊島区は、今年、区制施行90周年を迎えます。90周年を100周年に向けた新たなスタートとして位置づけ、豊島区の未来を描く様々なテーマを展開して、「誰もが主役になれる価値あるまち」を実現してまいりたいと思います。この基本計画の将来像を実現するために、私が先頭に立って、全庁をあげて取り組んでまいりますことをお約束いたします。

ご熱心に議論をいただきました、委員の各位に対しまして、重ねてお礼を申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

**原田会長：** 高野区長ありがとうございました。それでは最後に事務局から今後の予定について、ご連絡をお願いします。

**事務局：** 会長並びに委員の皆様、本当にありがとうございました。  
最後になりますが、連絡をさせていただきます。

今後のスケジュールでございますが、2月9日に区議会へ計画を報告の後、答申の内容を基に計画を策定し、3月中に冊子納品いたします。冊子の納品次第、各委員へ送付させていただきます。

1年と2か月本当にありがとうございました。

事務局からは以上でございます。

<p>会議の結果</p>	<p>豊島区基本計画(案)について質疑応答を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区民説明会及びパブリックコメントを踏まえた修正</li> <li>・政策評価委員会による議論を踏まえた指標の修正</li> <li>・令和4年度新規・拡充事業を踏まえた主な事業の修正</li> </ul> <p>豊島区基本計画(案)について区長へ答申を行った。</p>
<p>提出された資料等</p>	<p>【資料】</p> <p>資料7-1 「後期基本計画(素案)」パブリックコメント実施結果</p> <p>資料7-2 「後期・基本計画(素案)」区民説明会実施結果</p> <p>資料7-3 政策評価委員会による議論を踏まえた指標点検結果</p> <p>資料7-4 後期・基本計画(案)</p>